

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	総合国語 I A
科目基礎情報					
科目番号	0009		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気制御システム工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	精選 現代の国語 (明治書院) / 言語文化 (大修館書店) / 新総合図説国語 (東京書籍) / 常用漢字ダブルクリア四訂版・別冊徹底トレーニングノート総合タイプ (尚文出版)				
担当教員	加島 正浩				
到達目標					
1. 文章中で使用される語句や表現を理解し、それらの意味を適切な言葉を用いて説明することができる。 2. 論理や文章の展開を理解し、文章の趣旨を適切な言葉を用いて説明することができる。 3. 授業内で用いた文章の内容を適切に咀嚼したうえで、自らの意見を構築し、それを文章によって表現することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
文章中で使用される語句や表現を理解し、それらの意味を適切な言葉を用いて説明することができる。	文章中の語句や表現を、適切な言葉を用いて説明ことができ、実際に自分で使用することができる。		文章中の語句や表現の意味を説明することができる。		文章中の語句を説明することができず、自分で使用することができない。
論理や文章の展開を理解し、文章の趣旨を適切な言葉を用いて説明することができる。	文章の主意を、適切な言葉を用いて文章として説明することができる。		教科書の文章を用いながら、文章の主意がどこにあるかを説明することができる。		文章の主旨を説明することができず、それを適切な言葉を用いて文章化することができない。
授業内で用いた文章の内容を適切に咀嚼したうえで、自らの意見を構築し、それを文章によって表現することができる。	文章の内容を適切に理解し、内容を踏まえたうえで、自らの意見を文章によって表現することができる。		文章の内容を踏まえ、自らの意見を表明することができる。		文章の内容を適切に理解できず、内容を踏まえて、自らの意見を構築することができない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ディプロマポリシー DP3 ディプロマポリシー DP4					
教育方法等					
概要	1. 漢字や語彙などの基本的な知識を身につけ、論理構成に即して、さまざまな文章の趣旨を理解できるようにする。 2. 読んだ文章を踏まえたうえで、自身の意見や考えを構築し、他者に伝わる適切な文章を書けるようにする。				
授業の進め方・方法	担当教員による講義および問題演習				
注意点	授業計画は、受講者の理解度に応じて変更する場合がある。 文章を読むだけでなく、それを踏まえたうえで自らの考えを構築し、自らの考えを見直すという有意義な時間が形成できるように、授業内で提示された課題には積極的に取り組む姿勢が望まれる。 なお週に1度漢字テストを行う。漢字や語彙の増やすように努める姿勢で臨んでほしい。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	本授業の目的や具体的な学習方法、漢字テストの実施方法について、説明できる。	
		2週	平田オリザ「わかりあえないことから」①	評論文における「他者」の意味を理解し、説明することができる。	
		3週	平田オリザ「わかりあえないことから」②	「対話」と「会話」の違いを理解し、説明することができる。	
		4週	村上春樹『青が消える (Losing Blue)』①	小説から青が消える様子を的確に把握することができる。	
		5週	村上春樹『青が消える (Losing Blue)』②	小説の時間設定やメタファーの意味を理解することができる。	
		6週	「絵仏師良秀」『宇治拾遺物語』①	重要な古典単語や古典文法について理解することができる。	
		7週	「絵仏師良秀」『宇治拾遺物語』②	「人々」が「めで合」った理由を説明することができる。	
		8週	記述問題の解法演習	演習問題を通じ、国語の記述問題の答え方を理解することができる。	
	2ndQ	9週	前期中間試験	第1週から第7週の内容を踏まえたテストにおいて、100点満点中50点以上の点数を取得することができる。	
		10週	多和田葉子「『ふと』と『思わず』」①	なぜ「言葉は穴だらけ」なのか理解し、説明することができる。	
		11週	多和田葉子「『ふと』と『思わず』」②	「思わず」という言葉を使わなくても「思わず」の文学をつくるのが可能であるのはなぜなのか、理解し、説明することができる。	
		12週	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」①	プロレタリア文学という文学ジャンルについて理解し、説明することができる。	
		13週	葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」②	女工の手紙の内容を理解することができる。	
		14週	「筒井筒」『伊勢物語』	女の詠んだ歌の内容を本文に即して理解し、説明することができる。	
		15週	期末試験	第11～15回の授業の内容について確認する試験で、50/100点以上を取得できる	

		16週	答案返却	試験の解説を聞き、試験内容を理解することができる。
--	--	-----	------	---------------------------

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前2,前3,前4,前9,前10
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前2,前3,前4,前9,前10
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前14,前15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前16
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前16
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前16
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前4
相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前4				
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前4				
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	

評価割合

	試験	漢字テスト	提出物	合計
総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	70	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0